

第 22 回マクロ・コンファレンス論文募集のご案内（最終）

皆様

益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、1999 年以来、年に 1 回マクロ・コンファレンスが開催されていますが、第 22 回マクロ・コンファレンスを今年の 12 月 12 日（土）、13 日（日）に**オンライン**にて開催することとなりました。

資金提供者は、

TCER（東京経済研究センター）、
大阪大学社会経済研究所（共同利用・共同研究拠点「行動経済学拠点」）、
慶應義塾大学経済学部（学事振興資金共同研究）
慶應義塾大学経済研究所、
東京大学金融教育研究センター、
一橋大学経済研究所経済社会リスク研究機構
であり、代表幹事は下記の通りです。

応募〆切：

報告ご希望の方は 4 人のプロコミ委員に、報告希望の論文をメールの添付ファイルで 10 月 15 日（木曜日、日本時間）までにお送りいただきますようお願いいたします。フルペーパーの提出が望ましいですが、10 ページ程度の要旨でもよいとします（ただし、4 人のプロコミ委員および討論者宛にフルペーパーを 11 月 27 日（金曜日、日本時間）までに提出していただきますようお願いいたします

希望討論者を 2 名ご推薦いただきますようお願いいたします。ただし、事前に本人の承諾を取っていただく必要はありません。

テーマは特に定めませんが、日本経済の直面する問題に答えようとするマクロの理論・実証研究を歓迎します。特に、新型コロナウイルスの感染拡大がマクロ経済に及ぼす影響をテーマとした研究を歓迎します。また選定においては、論文の質が同程度と判断される場合には、若手研究者・大学院生を優先します。

論文・プレゼン資料・報告は日本語でも英語でもよいものとします。ただ、オーディエンスには日本語で質問する権利を認める方針ですので、あらかじめご了承ください（我々のうち

の誰かが必要に応じ翻訳します)。

採択の有無は11月15日頃までにお知らせいたします。

多数のご応募をお待ち申し上げておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

プログラム委員 (投稿論文の送付先)

塩路悦朗 (一橋大学)

shioji@econ.hit-u.ac.jp

櫻川昌哉 (慶應義塾大学)

masaya@econ.keio.ac.jp

敦賀貴之 (大阪大学)

tsuruga@iser.osaka-u.ac.jp

渡辺努 (東京大学)

watanabe@e.u-tokyo.ac.jp

(**4人全員に一齐送信**の形でお送りください。)

代表幹事：植杉威一郎 (一橋大学)、櫻川昌哉 (慶應義塾大学)、敦賀貴之 (大阪大学)、
渡辺努 (東京大学)

運営委員：白塚重典、藤原一平、廣瀬康生 (以上、慶應義塾大学)